

5. 10 J地域(河東地区)

(1)地域の現状と課題

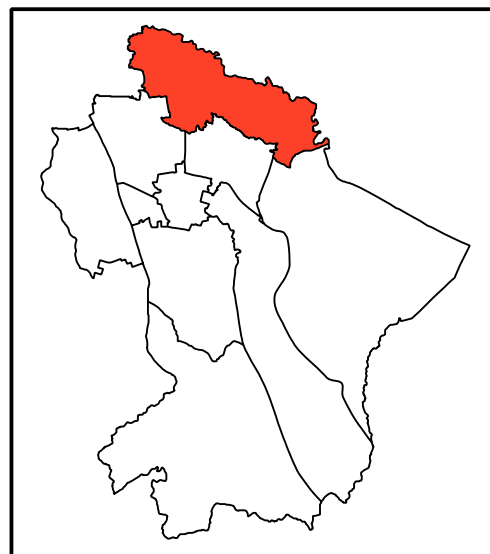
①日常生活の利便性及び居住環境向上

J地域は、本市の北部に位置し、農地と集落を中心とする田園風景が広がる地域です。

地域内には、完全復元された會津藩校日新館、会津医療センター（平成 25 年5月開所予定）など、市内外の人々の利用が見込まれる施設が立地しています。

しかし、食料品等の買い物は、地区中心部の大規模小売店舗等で行われているものの、それ以外の一般的な買い物は、中心市街地や会津若松 IC 周辺の商業地が中心であり、日常生活の利便性の向上が求められています。

また、集落における下水道への接続率が低く、居住環境の改善が求められています。

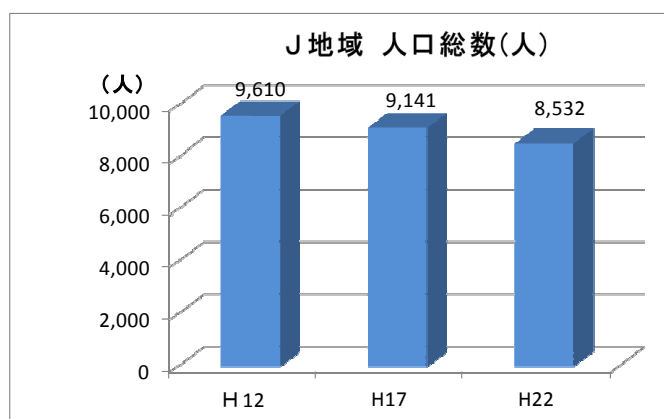


②田園風景の保全

広大な農地の中に集落が点在する田園風景は、地域の東側の丘陵地と調和し、地域の原風景となっています。

後継者問題等の農業を取り巻く環境の変化から、耕作放棄地等が見られるようになっていきます。

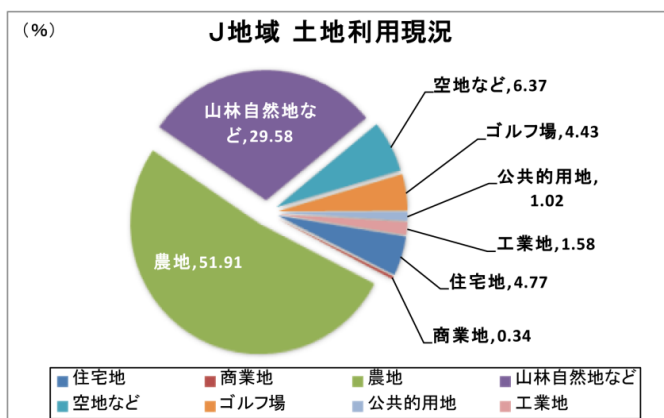
地域をイメージする田園風景を次世代に引き継いでいくため、適切な管理方策等により、農地と山並みが調和した美しい田園風景の保全を図ることが求められています。



出典：国勢調査

③会津の歴史・文化の保全と継承

八葉寺阿弥陀堂や延命寺地蔵堂、また空也念仏踊をはじめとする歴史的・文化的資源に加え、復元された會津藩校日新館など、会津の歴史と伝統を今に伝える観光施設もあることから、それらの資源を保存するとともに、将来に引き継いでいくことが求められています。



出典：都市計画基礎調査

(2)地区別懇談会での意見

J地域は、「河東地区」から構成され、地区別懇談会では、以下のご意見・ご提案をいただきました。

地区名	主な意見
河東地区	○会津医療センターとJR 堂島駅周辺の整備を進める。 ○農商工が一体となって、生活環境の充実を図り、住宅地を誘致し、定住化を促進する。 ○既存の並木等を連続させて、並木道として整備し、産業遺産や国指定文化財をつなげ、観光ルートを形成する。 ○強清水に道の駅を整備する。 ○温泉を掘削し、温泉施設をつくる。 ○イベント等により日新館の利活用を図る。 ○スポーツ等を通じたコミュニティが形成されている。 ○県道の拡幅整備、交差点改良等を進める。 ○通学路やスクールゾーンに防犯灯を設置し、安全性を高める。 ○会津医療センターの整備に併せて、堂島駅に快速を停車させる。 ○広田駅北側の地下道を陸橋に変更し、駐車場の整備、駅東西を結ぶ道路を整備する。 ○公園に駐車場を整備するなど、利便性を向上させるとともに、公園内に実のなる木を植えるなど、小動物が棲みやすい環境をつくる。 ○「かたりべ」により、河東に関係する会津の歴史を後世に伝える。 ○地域のコミュニティを深める活動（花壇の管理、ひまわりのポットで参拝客を迎えるなど）を行う。

(3)地域の将来像

地域の現状と課題、いただいたご意見から、J地域のまちづくりを考える上での「キーワード」として以下のものがあげられます。

これらのキーワードを踏まえ、J地域は、農地と山並みが調和する田園風景の中で、会津の歴史と伝統が受け継がれており、こうした会津の文化を暮らしに活かしながら、住み続けられるまちを目指すこととし、地域の将来像を以下のとおり設定します。

【キーワード】

○豊かな自然環境の保全	○医療センター周辺の利便性	○生活環境の向上
○会津の歴史と文化	○地域資源の活用	○中心市街地とのアクセス

【地域の将来像】



**田園を育みながら、歴史・産業・医療により、
都市部との交流を促進するまちをつくる**

(4)まちづくりの目標

①美しい田園風景を保全しながら、産業活力を創造する

田園風景を生み出す農地は山並みの緑との調和を図りながら保全を基本として、工業地などの都市的土地利用とのバランスの取れた美しい土地利用を次世代に継承していきます。

②安心して、住み続けられる居住環境を形成する

生活の利便性を高め、安心して住み続けられるまちづくりを推進します。

③会津の歴史・文化を活かした交流を促進する

八葉寺阿弥陀堂や延命寺地蔵堂、また空也念仏踊をはじめとする歴史的・文化的資源に加え、復元された會津藩校日新館など、会津の歴史・文化を今に伝える資源を活用し、それらに触れる機会を提供するなど、歴史・文化を活かした交流を促進します。

④中心市街地とのアクセスを強化する

中心市街地への道路整備等を推進し、中心市街地へのアクセス強化を図るとともに、公共交通の利便性向上を図ります。

(5)地域別方針

1)都市機能の方針

- 地域のコミュニティ拠点として、公民館等の機能の充実を図り、地域におけるコミュニティ活動や交流を促進します。また、広田周辺地内における公共施設の整備など、地区の拠点として近隣生活圏の形成・充実を推進します。
- 農業のブランド化や付加価値の高い地域産業の育成を支援し、地域産業の活力を高める取り組みを推進します。
- 国指定文化財や會津藩校日新館などの観光施設、名水や蕎麦で知られる強清水などの地域の歴史や自然を活かし、観光拠点としての機能の維持・充実を図ります。
- コミュニティバス「みなづる号」の利便性向上など、利用しやすい公共交通について、地域ぐるみで育てる取り組みを推進します。
- 地域内の水力発電所施設の観光資源としての利活用や、日橋川流域における小水力発電による利用を検討します。

2)土地利用の方針

- 地域内の住宅地や集落地は、低層建物を主体として、緑化の推進など、農地と調和した土地利用を推進します。
- 河東工業団地を産業活力ゾーンに位置づけ、工業機能の充実を図ります。また、既存の工業系市街地についても、産業活力ゾーンとして、周辺環境との調和を図りながら、立地特性を活かした適切な土地利用を推進します。
- 会津医療センターを広域医療拠点として位置づけ、周辺環境と調和した土地利用の検討など、同センターの利便性や機能の向上を促進します。
- 農地と集落との調和を図りながら、磐梯河東 IC 周辺における新たな土地利用を検討します。
- 農村集落地は、田園風景との調和を継続していくとともに、集落としての活力を将来的にも維持していくための土地利用を推進します。

3)都市施設の方針

- 市街地との交流や連携の促進を図るため、市全体の道路ネットワークと整合した道路整備を推進し、中心市街地とのアクセス強化を図ります。
- 地域内交通の安全性と快適性を確保するため、歩行者と自動車が分離する人に優しい道路づくりを推進します。
- 道路や公園などの都市施設の整備にあたっては、バリアフリーを基本として整備を推進します。
- 八葉寺阿弥陀堂をはじめ、地域内に点在する歴史・文化資源などを巡る、回遊ルートを形成し、地域内外の人々の交流を推進します。
- 公共下水道の整備や、浄化槽の設置を推進し、生活環境の向上と自然環境への負荷の軽減を図ります。
- 既存の消融雪施設を有効に活用するとともに、地域との連携のもと、除雪の充実を図りながら、冬期間における生活環境の向上を推進します。

4)都市環境の方針

- 快適で安全な生活環境を保全するため、生活道路の整備や、住民をはじめ地域ぐるみによる防犯灯の設置などを進め、夜間でも安心して暮らせる地域づくりを推進します。
- 集落地における農地と集落が調和した美しい田園景観の保全を図ります。
- 自然環境との調和を図りながら、優良な農地の保全を支援していく体制づくりを推進します。

5)都市防災の方針

- 公共施設や学校、公園などを防災施設として活用するとともに、避難路の安全対策を図りながら、災害に強いまちづくりを推進します。
- 住宅地、集落における防災性の向上を図るため、木造住宅の耐震診断の促進を図るとともに、狭小道路や行止まり道路の解消を推進しながら、新耐震基準以前に建てられた建築物を中心に耐震化を促進していきます。
- 瀬川等の河川改修を促進し、自然災害に対する安全性の向上を図ります。

■J地域(河東地区)整備方針図

